

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年5月 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部・国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年5月22日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	カナダ
留学先大学	ヨーク大学(日本語名) York University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年9月~2024年5月
留学先大学で在籍した学年	特になし 年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:リベラルアーツ 現地言語での名称:Liberal Arts& Professional Studies  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬~7 月下旬 2 学期: 9 月中旬~2 月上旬	1 学期:9 月上旬~12 月下旬 2 学期:1 月上旬~ 4 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 55,000
創立年	1960 年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (カナダドル)	日本円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	11,776	1,295,360円	冬休み期間滞在費含
食費	3,500	385,000円	食材費+外食
図書費	50	5,500円	教科書代
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	360	39,600円	
現地交通費	350	38,500円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	4,000	440,000円	国内旅行2回+国外旅行2回
被服費	800	88,000円	
医療費	0	0円	
保険費	1632.5	179,575円	形態:York CA\$756 明治大学 96,415円
渡航旅費	3,090	339,900円	
ビザ申請費	235	25,850円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	25,793.5	2,837,285円	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
<b>往路 出発地:</b> 羽田空港 <b>目的地:</b> ピアソン空港 <b>経由地:</b> <b>復路 出発地:</b> ピアソン空港 <b>目的地:</b> 花枝空港 <b>経由地:</b>
<b>渡航費用</b>
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:エアカナダ  料金:330,000 円  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:            料金:  復路 航空会社:           料金:                            ∴合計:
<b>航空券購入方法</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:STA travel) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:     ) <input type="checkbox"/> その他(     )
<b>滞在形態関連</b>
<b>1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Pond Road Residence) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2) 部屋の形態</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数     )
<b>3) 共有部分</b>
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4) 住居を探した方法:</b>
大学からメールが届き、それに沿って申請をしました。
<b>5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
私が滞在先は、大学が管理をしている寮の中で一番設備が整っているとされていました。キャンパス内にあるため、通学もかなり便利でした。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在留届を提出し、何か危険情報があった場合は外務省から連絡を受けられるようにしました。また、現地の友人から聞くなどして情報を収集しました。大学周辺の事件や出来事を発信しているインスタグラムアカウントをフォローして情報収集している友人もいました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内のWi-Fiは基本的に安定しており、ネットワークの接続で悩まされたことはほとんどありません。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

出発前に日本で換金した現金と、クレジットカードを2枚持って行きました。現地で現金が必要になった時は、クレジットカードのキャッシング機能を利用し、現金を引き出しました。クレジットカードによってはキャッシングカードがあとから設定できないものもあったので、事前に確認しておくといいと思います。現地で友人同士の金銭のやり取りはE-transferというものを使って行われていました。現地の銀行口座を持っていないと利用できないようなので、初期の段階で現地の銀行口座を作ってもよかったと思っています。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

お土産として渡せる小分けのお菓子、常備薬、(自炊をするなら)クレラップ  
基本的に値段は高いですが、現地でもそろえることはできます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Canadian Language and Culture		カナダの言語と文化
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics/ESL	
履修期間	Fall/Winter	
単位数	6.00	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル+講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が1回	
担当教授	Fernanda Carra-Salsberg	
授業内容	カナダの多文化主義についてや先住民の歴史などについて学習しました。ESL の講義で、正規留学生では 1 年次の必修のため履修している人もいますので、大学生活で必要な引用の仕方やプレゼンする方法なども学びます。	
試験・課題等	・グループプレゼンテーション ・エッセイ ・小課題 ・ほぼ毎週のリーディング課題	
感想を自由記入	多民族社会を促進しすぎたために生まれた移民とカナダ人の溝や、現代にもつながっている先住民族が抱える課題などに着目し、多民族国家カナダが抱える課題や暗い歴史の側面について新たな知見を得ることができました。課題については各課題の難易度はそれほど高くありませんが、毎週一定した量の課題が出されていました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary Japanese Culture and Society	現代の日本の文化と社会
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics/JP
履修期間	Fall/Winter
単位数	6.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Cary S. Takagaki
授業内容	日本の歴史、文化、社会について
試験・課題等	・小テスト ・小レポート2回、期末レポート1回 ・プレゼンテーション
感想を自由記入	日本の神話や歴史、日本人の宗教観、日本の食文化など様々な側面から現代日本の文化と社会について学ぶことができます。海外で日本文化について学ぶことで、これまであまり認識していなかった日本の独特な慣習や文化についての気づきを得ることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to International Development Studies	国際開発学入門
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics/AP・SOSC
履修期間	Fall/Winter
単位数	9.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル、講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Eduardo Canel, Miguel Gonzalez
授業内容	「開発(development)」という言葉の意味について、真の開発とは何なのかということを中心にジェンダーや帝国主義など様々な要因を視野に入れながら考えます。
試験・課題等	・毎週のリーディング課題 ・エッセイ ・エッセイ形式の中間課題、期末課題 ・プレゼンテーション
感想を自由記入	講義で扱う用語や概念が専門的で、内容を理解するのに苦労しました。講義とは別にチュートリアルクラスが設けられており、そこでその他の学生との議論を通して講義内容をかみ砕くようにしていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary Korea: Korean Popular Culture and Korean Wave	現代韓国:韓国の大衆文化と韓流
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics/AP・KOR
履修期間	Fall
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Jeon Mihyon
授業内容	現代の韓国の大衆文化流行やその要因について
試験・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週のリーディング課題、リアクションペーパー</li> <li>・グループプレゼンテーション</li> <li>・グループエッセイ</li> </ul>
感想を自由記入	<p>韓国の大衆文化について興味があるため、学術的に学んでみたいと思い履修を決めました。この講義はオンラインでの講義として設定されており、毎週決められた文献を読み意見をまとめたり、グループワークを行ったりしました。対面で出会ったことがない人々とオンラインで共同作業を行うことに不便さを感じることもありましたが、グループの人と協力し最後までできたときには達成感を得ることができました。</p>

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、寮の申請
	8月～9月	渡航
	10月～12月	中間試験
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	期末試験・帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

大学入学時から「留学をしてみたい」と漠然と考えていました。1年次の春休みにアイルランドでの短期留学を経験して、海外で生活することの面白さや、自分と違う文化で育った人と生活する中で相手の文化を尊重することの大切さなどを知り、さらに長期での留学への意欲が高まりました。コロナの影響で出願しても途中で渡航が取り消されてしまうかもしれない中で準備しなければいけないこと、半年以上知らない国で生活すること、さらに経済的な負担が大きいことなど、留学に挑戦するうえで多くの懸念点や不安な点がありました。しかし、留学に気軽に挑戦できるのは学生のうちだけだと考え、協定留学への出願を決めました。英語圏であること、かつ聞きなじみのあるアメリカ英語に近いということ、多様性にあふれていること、比較的治安が安定していること、ヨーロッパやアメリカに比べて物価が低いこと、交通機関が充実していて自分自身で移動が可能なことなどの観点から、カナダを留学先の国として選びました。その中でもヨーク大学は自分の興味のある講義を受けられることに加え、トロントという多様性にあふれた都市の中に位置しており、多様なバックグラウンドを持った人と交流することができるのではないかと考え、選びました。実際に、キャンパス内は多様性に富んでおり、異なる人種やバックグラウンドの人と交流することができました。また、英語を第二言語以上の言語としている人や複数言語話せる人が少なくなく、言語学習の難しさを理解している人が多い印象です。そのため、言語能力だけで人の価値や能力を図るといったことがほとんどないように感じました。

留学生活は慣れていないことが多く、苦戦することもありました。仲の良い友人や助けを求められることのできる信頼できる人ができるまでは、つらいと感じることもありましたが、留学期間は毎日が充実していて、本当に貴重な経験ができたと思います。留学期間中は楽しいこともたくさんあったし、友人に助けをもらうこともできたので、一番辛かったのは先が見えない留学準備中だったかもしれません。日々の講義や課題をやりながら、当時に英語を勉強したり出願資料を作成したりする作業はかなりストレスでした。しかし、そのつらい期間があったからこそ、海外でしかできない経験をすることができ、これからも付き合っていきたいと思える友人にも出会えました。私にとって大切な財産になる経験です。留学に挑戦することは簡単なことではないし、思い描いたようにいかないことも多々ありますが、留学することでしか得られない経験や学びがあるはず。もし留学をする機会があるならば、ぜひ挑戦してみてほしいと思います。